

2013年度 立命館サステナビリティ学研究センター(RCS) シンポジウム

水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点形成

—R-GIRO水再生拠点形成のねらいと構想—

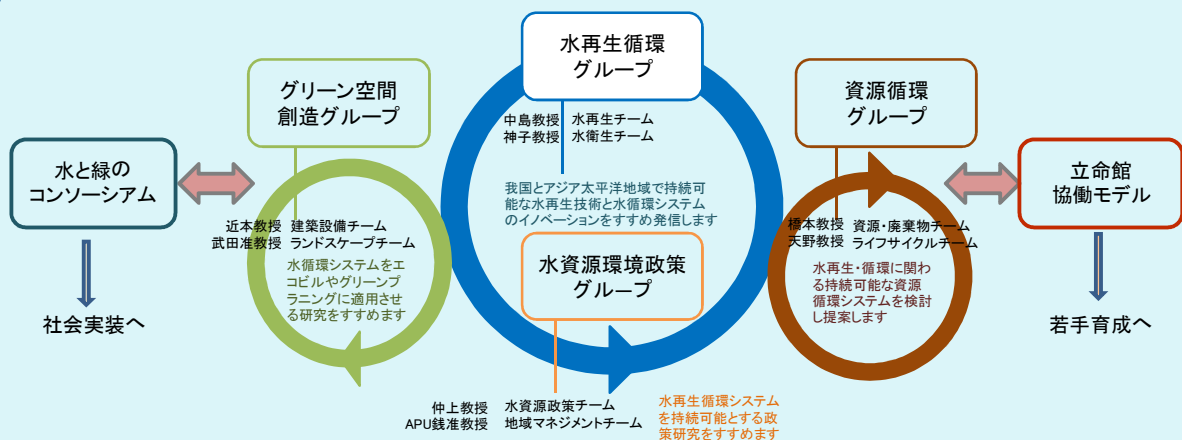
ご挨拶

気候変動によって深刻化する水問題を緩和し持続可能な水利用を実現するために、利用した水を再生再利用し、新しい水循環系を創出させることが肝要といわれています。RCSでは、そのための適正な再生技術のイノベーションと、新しい循環システムのイノベーション、そしてその実装を可能とし持続可能とするための地域水管理政策を研究し提案してゆくことをめざし、2013年9月に立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)の支援を受け、拠点形成型研究プロジェクトを発足しました。プロジェクトの目標は、以下のとおりとしています。

- (1) アジア太平洋地域の居住者生活系において適用可能な革新的水再生技術および水循環システムを開発し提案する。
- (2) 水再生・循環システムが住民に受け入れられるための、アメニティ性の高い居住施設や緑地景観をデザインし提案する。
- (3) 水再生・循環システムの導入と水再生による副生成物の利用に関わる持続可能な資源循環システムを検討し提案する。
- (4) 新しい水・資源再生循環システムが、地域や社会で受け入れられ、効果的マネジメントを可能とする政策を検討し提案する。
- (5) 異分野を融合させた水再生循環のパッケージシナリオを開発し提案する。

本研究グループの発足にあたり、そのねらいと構想をお示しすることを目的として、このたび第1回シンポジウムを開催させていただくことになりました。年度末のお忙しい時期かと存じますが、ぜひ会場に足をお運びいただき、ご意見ご助言賜れば幸いです。どうか、よろしくお願い申し上げます。

立命館サステナビリティ学研究センター長
R-GIRO「水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点」リーダー 中島 淳





シンポジウム内容

日時 2014年3月11日(火)14:50~17:30

場所 立命館大学びわこ・くさつキャンパス ローム記念館5階大会議室

司会:佐藤圭輔(理工学部)

- | | | | | |
|-------------|-----------------------------------|----------------------|-------|-----------------|
| 14:50 | 開会・挨拶 | 立命館グローバル・イノベーション研究機構 | 副機構長 | 行正 秀文 |
| 15:00 | 「アジア太平洋地域における水・資源再生循環システムの提案に向けて」 | | 理工学部 | 教授 中島 淳 |
| 15:15 | 「水資源を利用したグリーンビルの創造」 | | 理工学部 | 教授 近本 智行 |
| 15:30 | 「ランドスケープデザインと水再生循環システム」 | | 理工学部 | 准教授 武田 史朗 |
| 15:45 | 「アジアの水危機と水ビジネスの可能性」 | | 政策科学部 | 教授 仲上 健一 |
| 16:00 | 「水再生循環の地域マネジメント」 | 立命館アジア太平洋大学 | 准教授 | 銭 学鵬 |
| 16:15~16:25 | 休憩 | | | |
| 16:25 | 「上下水道システムのライフサイクル評価事例」 | | 理工学部 | 教授 天野 耕二 |
| 16:40 | 「紫外線を活用した水再生循環システム」 | | 理工学部 | 教授 神子 直之 |
| 16:55 | 「水再生循環に関わる資源循環システムのシナリオ」 | | 理工学部 | 教授 橋本 征二 |
| | | R-GIRO | 専門研究員 | Cherry Myo Lwin |
| 17:10 | 総合討論 | | | |
| 17:30 | 閉会 | | | |

主催:立命館サステナビリティ学研究センター(RCS)
共催:立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)

◎ どなた様もご自由にご参加下さい。

問い合わせ先 リサーチオフィス(衣笠)RCS事務局 平井・北波
075-465-8319 nhirai-a@st.ritsume.ac.jp